

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

トビイロウンカの発生状況（技術情報第6号）について（送付）

トビイロウンカの発生状況については、平成30年8月10日付技術情報第5号で発表しましたが、その後の発生状況を下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考として御活用ください。

#### 記

普通期水稻では発生量は平年より少ないが、各ほ場での発生には十分注意しましょう。

8月以降のトビイロウンカの本田での発生状況を把握するため、9月4日に県内36か所の普通期水稻ほ場で払落し調査を行った。

#### 1 発生状況

- (1) 10株当たり成幼虫数は0.5頭(平年18.5頭)、発生ほ場率は8.3%(平年71.1%)で、平年より少ない発生であった(表1、図1)。

注) 平年値は調査を行った過去8か年(2009、2010、2012～2017年)の平均

#### 2 防除対策

本田での発生は平年より少なかったが、トビイロウンカの発生量はほ場により異なる。そのため、ほ場の発生状況を確認し、以下の防除対策を講じる。

- (1) ほ場の発生状況を確認し、要防除水準(収穫30日前:30頭/10株)を超えた場合は、直ちに追加防除を実施する。
- (2) 飼料用米等の多肥で栽培期間の長いほ場では収穫までに多発しやすいので、注意する。
- (3) 粉剤及び液剤は、トビイロウンカが多く生息する株元に付着するよう散布する。
- (4) トビイロウンカは、イミダクロプリド剤やチアメトキサム剤、BPMC剤に対する感受性が低下している(平成30年3月14日付技術情報第14号 [http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H29/yosatu/180314gi\\_jyutu.pdf](http://www.jppn.ne.jp/kumamoto/H29/yosatu/180314gi_jyutu.pdf) 参照)ので、防除に使用する薬剤の選定には注意する。
- (5) 農薬を使用する際は、必ずラベルなどで使用方法を確認し、登録がある農薬を使い、収穫前使用日数や使用回数、希釈倍数等を遵守する。また、ミツバチや魚介類など周辺動植物及び環境へ影響がないよう、飛散防止を徹底するとともに、事前に周辺の住民や養蜂業者等へ薬剤散布の連絡を行うなど、危害防止に努める。

表1 トビイロウンカの発生状況

10株当たり虫数

要防除水準: 30頭/10株

地点名	成虫				幼虫			計
	長翅♂	長翅♀	短翅♂	短翅♀	老齡	中齡	若齡	
熊本市画図1	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市画図2	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市中無田1	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市中無田2	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市富合町新1	0	0	0	0	0	0	0	0
熊本市富合町新2	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市松橋町1	0	0	0	0	0	0	0	0
宇城市松橋町2	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市北牟田1	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市北牟田2	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市横島1	0	0	0	0	0	0	0	0
玉名市横島2	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市南島1	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市南島2	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市鹿本1	0	0	0	0	0	0	0	0
山鹿市鹿本2	0	0	0	0	0	0	0	0
普通期 菊池市赤星1	0	0	0	0	0	0.7	0.3	1.0
菊池市赤星2	0	0	0	0	0	0	0	0
大津町新1	0	0.3	0	0	0	0	0	0.3
大津町新2	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉島町下仲間1	0	0	0	0	0	0	0	0
嘉島町下仲間2	0	0	0	0	0	0	0	0
甲佐町早川1	0	0	0	0	0	0	0	0
甲佐町早川2	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市高田1	0	0	0	0	0	0	0	0
八代市高田2	0	0	0	0	0	0	0	0
氷川町若洲1	0	0	0	0	0	0	0	0
氷川町若洲2	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町花岡1	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町花岡2	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町市野瀬1	0	0	0	0	0	0	0	0
芦北町市野瀬2	0	0	0.3	1.0	0	2.3	12.7	16.3
錦町木上1	0	0	0	0	0	0	0	0
錦町木上2	0	0	0	0	0	0	0	0
人吉市鬼木町1	0	0	0	0	0	0	0	0
人吉市鬼木町2	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>平均(36地点)</b>	0	0.01	0.01	0.03	0	0.1	0.4	
	成虫 計			0.05	幼虫 計		0.4	
<b>計(成虫・幼虫)</b>	<b>0.5</b>							
<b>平年</b>	<b>18.5</b>							
<b>発生ほ場率</b>	<b>8.3%</b>							

注1) 1地点につき、30株調査

注2) 計はラウンドの関係で一致しない

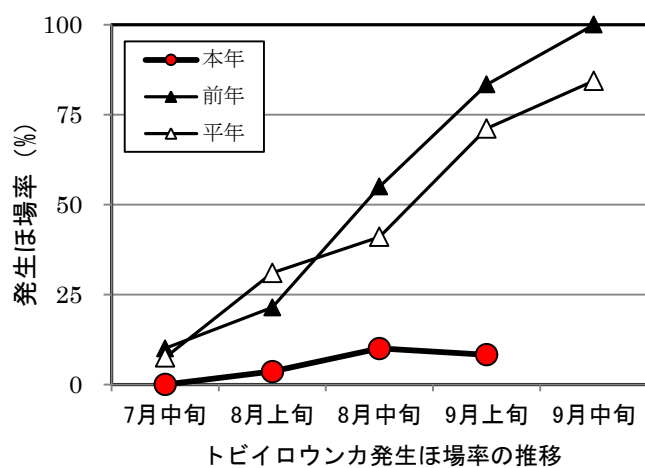
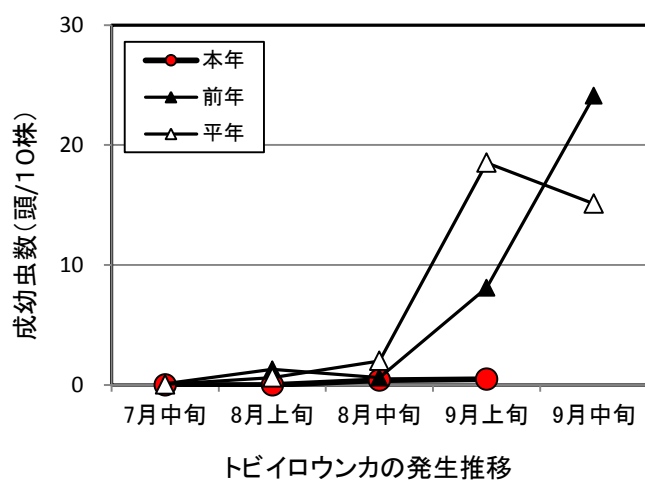


図1 普通期水稲での発生推移（上：成幼虫数、下：発生ほ場率）

熊本県病害虫防除所  
 (熊本県農業研究センター 生産環境研究所  
 病害虫研究室 予察指導係)  
 担当：坂本、清永 TEL 096-248-6490